

東邦TF36H2C3改型
ダンプセミトレーラ外観四面図

東邦車輛株式会社 殿

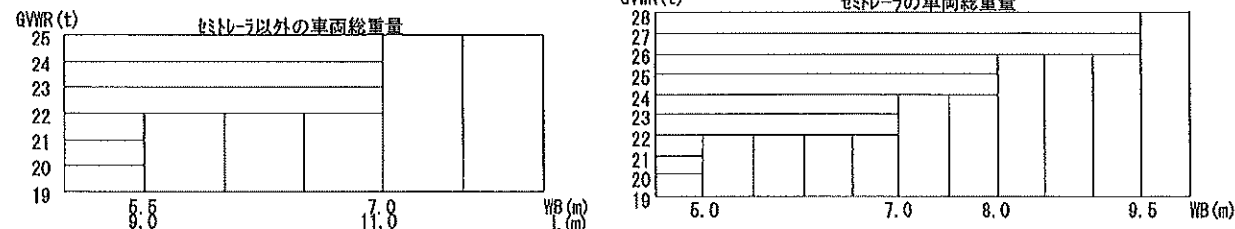
改造概要等説明書(改造自動車審査結果通知書)

(指示事項)

主要諸元比較表 標準車の類別等を記載する。(0756)

項目	標準車	改造車	基準・限度	項目	標準車	改造車	基準・限度	
車名	東邦	←		乗車定員人	-	-		
型式	TF36H2C3	TF36H2C3改		最大積載量 kg	29000	24600		
自動車の種別	普通	←		車両重量 kg	前前軸重	10490	8145	
用途	貨物	←			後前軸重	8480	9285	≤10t (14030kg)
車体の形状	セミトレーラ	ダンプセミトレーラ			後中軸重	8485	9280	≤10t (10995kg)
燃料の種類	-	-			後後軸重	8485	9280	≤10t (10995kg)
原動機型式	-	-			計	35940	35990	≤36t (47070kg)
総排気量(L)又は定格出力(kW)	-	-		最大安定傾斜角度°	右 50	* 42	一般 ≥35° その他 ≥30°	
長さ m	12.145 (11.600)	8.950 (8.130)	≤13m	タイヤサイズ	前前軸	-	-	
幅 m	2.490	←	≤2.5m		後前軸	11R22.5 -14PR	←	(10000kg)
高さ m	2.260	3.730	≤3.8m		後中軸	11R22.5 -14PR	←	(10000kg)
軸距 m	6.910+1.300	3.830+1.300			後後軸	11R22.5 -14PR	←	(10000kg)
	+1.300 =9.510	+1.300 =6.430			前輪荷重割合%	空車 -	-	≥18, 20%
輪距 m	前前輪 -	-		リヤ・オーバーハング m	2.090	1.555	≤1/2 (3.215m)	
	後前輪 1.850	←		荷台オフセット m	2.610	1.200		
	後中輪 1.850	←		最小回転半径 m	-	* 7.5	≤12m	
	後後輪 1.850	←						
室内又は荷台の内側の寸法	長さ m	12.000	8.100					
	幅 m	2.470	2.200					
	高さ m	-	0.900					
車両重量 kg	前前軸重	1270	2390					
	後前軸重	1890	3000					
	後中軸重	1890	3000					
	後後軸重	1890	3000					
計	6940	11390						

車両総重量・軸重等の基準



隣接軸距	1.8m未満	1.8m以上	1.3m以上1.8m未満(1の車軸にかかる荷重が9.6t以下である場合)
隣接軸重	- kg ≤18t	- kg ≤20t	18565 kg ≤19t

能力強度等検討			
制動能力	踏力 - N	60 km/h	4.50 m/s ²
	空気圧	650kpa	
推進輪	回転数	-	
	強度	-	
車枠強度	$\sigma\beta/\sigma = 490/53.841 \times 2.5 = 3.64 \geq 1.6$	制動装置強度	×
	$\sigma\gamma/\sigma = 325/53.841 \times 2.5 = 2.41 \geq 1.3$	連結装置強度	×
		車軸強度	×
		操縦装置強度	-
		緩衝装置強度	ft=4100/776.9=5.2 > 1.6 fy=2500/776.9=3.2 > 1.3

注1. 能力強度検討欄は、該当しないものは、省略したものは×を記入すること。
 注2. 指示事項欄又は能力強度検討書欄は、必要に応じて指示欄又は項目を追加・削除することができる。
 注3. 現車審査の際は、通知書及び改造部分詳細図等の添付書類を提示すること。(9.(1)関係)
 注4. *印は 日野 QDG-SS1EKAA型トラクタと連結時の計算値を示す。

BA028879

改造等の概要

目的	東邦TF36H2C3型(2国自審第1794号新02125号、類別0756) セミトレーラを分割可能な貨物の安全輸送をはかるため変更する。(あおり型 固縛を前提にしないもの)
車枠及び車体	<ul style="list-style-type: none"> キングピン中心より1.100mから3.050mの間の縦板下部を延長して軸距間前方傾斜部後端迄の長さ0.355m短縮する。3.050m(標準車) → 2.695m(改造車) 車枠後部の主フレーム縦板下部を0.020m延長し、高さ0.500mにする。 標準車の軸距間にあたる主フレームの後部を短縮する。
原動機	
動力伝達装置	
走行装置	
操縦装置	
制動装置	
緩衝装置	・緩衝装置ブラケット高さを0.210mから0.360mに変更する。
連結装置	
燃料装置	
電気装置	

注1 該当する事項が無い場合については、斜線で記入すること
 注2 届出者は、自動車の点検及び整備に関する情報の提供並びにリコール届出に関する責務があります。なお、リコール届出に関しては、その実施について道路運送車両法(昭和26年6月1日法律第185号)に基づく勧告、命令を受ける場合があります。(第57条の2、第63条の2、第63条の3関係)

改造等の概要補足説明

型式：東邦 TF36H2C3-91038 型

車枠及び車体	<ul style="list-style-type: none">・フロントオーバーハングを 0.100m 延長する。 0.400m → 0.500m・緩衝装置ブラケットを前方に 3.080m 移動することにより 軸距を $6.910+1.300+1.300=9.510\text{m}$ → $3.830+1.300+1.300=6.430\text{m}$ に変更する。・フレーム長さを 4.205m 短縮 (12.000m → 7.795m) することにより、 リヤオーバーハングを 2.090m → 1.555m に変更する。・突入防止装置は「協定期則第58号第2改訂版25.の技術的な要件」を満たすものを取り付け、JABIAプレートを取り付ける。
--------	--